



平成 23 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 アイカ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 勇治
(コード番号: 4206 東証・名証各第 1 部)
問合せ先 取締役総合企画部長 百々 聰
(TEL 052-409-8261)

インド Bombay Burmah 社の化粧板事業の譲受けに関するお知らせ

当社は、平成 23 年 8 月 10 日開催の取締役会において、当社子会社を通じてインド共和国 The Bombay Burmah Trading Corporation Ltd. (以下、「BBTCL」) の化粧板事業を譲受ける為の事業譲渡契約を締結する事を決議し、同日 BBTCL と本契約を締結致しましたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 事業譲受けの理由

建築関連商品の需要が今後大きく伸張すると見込まれるインドに於いて化粧板事業の製造・販売拠点を確保し、アジア地域における生産能力の強化と最適生産に向けたエリア戦略を推進するため、当社はこのほど BBTCL と同社の化粧板事業を譲受けることに合意いたしました。

当社は BBTCL の化粧板製造部門に当社技術を加えて製品の多様化、高品位化、高機能化を進めると共に、インド国内を網羅する同社の販売網を活用し、同国に於ける販売の拡大を目指します。本事業は当社の 7 番目の海外事業投資となります。

2. 当社インド子会社の概要

- (1) 商 号 Aica Laminates India Private Limited
(アイカ・ラミネーツ・インディア・プライベート・リミテッド。以下、「ALI」)
- (2) 代 表 者 加藤 義久
- (3) 本 社 所 在 地 インド共和国ウッタルプラデーシュ州ノイダ
- (4) 設 立 年 月 日 2011 年 6 月 20 日
- (5) 主な事業の内容 高圧メラミン化粧板の製造・販売
- (6) 資 本 金 10 百万インドルピー (18.9 百万円相当)
- (7) 大 株 主 当社 99%

当該子会社は、BBTCL の化粧板事業を譲受ける目的で設立された子会社です。

3. 譲受ける事業の概要

(1) 譲受ける事業 BBTCL における高圧メラミン化粧板の製造・販売事業

(2) 譲受けの契約締結日 2011年8月10日

(3) 譲受ける事業の経営成績 (2011年3月末日終了事業年度)

| | | |
|-----|--------------|---------------|
| 売上高 | 787 百万インドルピー | 約 1,487 百万円相当 |
|-----|--------------|---------------|

(4) 譲受ける資産・負債の内容 BBTCL が営む化粧板事業に関わる全資産及び負債を対象としております。

4. 相手先の概要

| | |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 名称 | The Bombay Burmah Trading Corporation Ltd. (ボンベイ・バーマ・トレーディング・コーポレーション) |
| (2) 本社所在地 | インド共和国ムンバイ |
| (3) 代表者の役職氏名 | Ashok Panjwani (Managing Director) |
| (4) 主な事業内容 | 投資会社部門: Britannia 社等 事業会社部門: 食品、プランテーション(茶、コーヒー) 化粧板、自動車部品(スプリング)、計量器、ヘルスケア製品(歯科、整形、眼科)、不動産開発、その他多角化事業 |
| (5) 資本金 | 139 百万インドルピー (262 百万円) |
| (6) 設立 | 1863 年 |
| (7) 株式の上場 | ムンバイ証券取引所 (BSE) ナショナル証券取引所 (NSE) |
| (8) 売上高(連結) | (2011年3月期) 519 億インドルピー (約 981 億円相当) |
| (9) 当社との関係 | |
| 資本関係 | 該当事項はありません。 |
| 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| 取引関係 | 該当事項はありません。 |
| 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 |

5. 日程

| | |
|------------------|---------------|
| 平成 23 年 6 月 20 日 | ALI 設立 |
| 平成 23 年 8 月 10 日 | 事業譲受けに関する契約締結 |
| (関係許認可取得次第) | 事業譲受けの実行 |

6. 会計処理の概要

本件は、企業結合会計基準上の処理を行うことを予定しており、のれんが発生することが見込まれますが、のれんの会計処理が与える影響は軽微なものと見込まれます。

7. 今後の見通し

本件に伴い、連結業績予想を変更する予定はございません。

(注) 円単位表記は、8月9日の TTS、1 インドルピー = 1.89 円で計算しております。

以上